

## 委員会活動から

### 有資格者増強委員会(北海道技術士センター)

【第二次試験対策(1～20部門)添削指導実施中(7月1日迄)】

【第二次試験総合技術監理部門 講習会(6月18日開催)】

【第一次試験対策講習会(7月2日開催)】

今年度の技術士試験対策講習会として、第二次試験の1～20部門は、昨年度同様経験問題の添削指導のみとし、総合技術監理部門は6月18日(土)～北海道建設会館、第一次試験は7月2日(土)～北海道建設会館で実施されます。

本稿が掲載される頃は、既に総合技術監理部門講習会は終わっていることと思いますが、その結果報告は次号に譲ることとし、本稿ではこれら講習会の実施要領の紹介を致します。また、5月18日(水)に実施した第1回第二次試験対策委員会活動についてもご報告いたします。

#### 1. 第二次試験対策講習会実施要領

##### (1) 1～20部門の経験問題添削指導

例年実施している経験問題の添削指導について、今年も受付をホームページにて行い、添削実施期間を本番まで複数回可能なように4月1日～7月1日迄、約4カ月間実施しております。5月21日現在、約20名弱の申し込みがあり、委員会メンバーを中心として鋭意、添削指導を進めております。

本試験の出題内容は年々多様化しており、また合格基準も経験問題だけに限らず一般問題のウエイトがますます高まってきたような感がいたします。そのため、今年度から受講者には「一般問題の傾向と対策」として、五択式と記述式の勉強法のアドバイス資料を委員にて作成し配布するようしております。こうした委員会の活動成果が少しずつ現われることを期待するところであります。因みに昨年度では、当委員会講習会の受講者が過去分を含めて11名の合格者が出ております。

##### (2) 総合技術監理部門の意見交換会

今年度は昨年度の意見交換会をさらに発展させ、委員会メンバーを講師として積極的に講習会という形で実施することとしております。

講習内容は、委員会メンバー2名から「経験談」と「過去4カ年の出題と傾向」と題して説明してもらう予定であります。5月21日現在、受講申込者は7名と非常に少ない状況ですが、今後少しでも増えることを期待して、その結果を次号にて報告いたします。なお、日程・場所等は以下のとおりです。

■日時：平成17年6月18日(土) 15:00～17:00

■場所：北海道建設会館

#### 2. 第1回委員会の議事録

(1) 実施月日：平成17年5月18日(水)

(2) 出席者：

○近藤、大井、林(秀)、久保、油津、黒沢、星野、赤松、林(克)、斉藤(和)、斧

以上 11名

(3) 議題

① H16年度第二次試験結果報告

② H17年度第二次試験受験対策講習会の準備確認

・1～20部門の経験問題添削指導

・総合技術監理部門の講習会

③ H17年度第一次試験講習会実施要領の準備確認

④ その他

(文責：黒沢 弘行)

### 3. 技術士第一次試験対策分科会

技術士制度の改正により、技術士の受験資格として、技術士第一次試験の合格かそれと同等と認められることが義務づけられています。

当センターでは、道内における合格者の増加を目指して、技術士第一次試験受験講習会を開催しており、今年度で4回目になります。昨年度は講習会受講者211名中87名の方が合格されました。

本講習では、より多くの方に合格していただくよう、すべての科目でオリジナル演習問題を作成し、実践に近い形での講習を実施する予定です。

#### (1) 分科会メンバー

分科会は、以下のメンバーで運営していきます。

- ・ 齋藤礼位 (建設/農業)
- ・ 中山 亮 (総合技術監理/建設/環境)
- ・ 向井 直樹 (総合技術監理/建設/情報)
- ・ 沖崎 裕 (建設)
- ・ 金子 隆幸 (建設)
- ・ 高井 和彦 (農業)
- ・ 山田 哲 (農業)
- ・ 原田 哲郎 (水道)
- ・ 長谷川廣和 (水道(補))
- ・ 知本 康男 (応用理学)
- ・ 片桐 浩司 (建設/環境)

#### (2) 平成17年度第一次試験対策講習会実施要領

##### ① 開催日時等

- ・ 日 時：平成17年7月2日(土)
- ・ 時 間：9:30~16:00 (受付9:00~)
- ・ 場 所：北海道建設会館9F大ホール  
(札幌市中央区北4条西3丁目)
- ・ 受講料：8,000円 (学生のみ5,000円)

##### ② 開催予定部門

建設部門・農業部門・上下水道部門・応用理学部門・環境部門の5部門

これらの講習会の結果報告は次号に掲載いたします。

なお、今回の申し込み受付は終了いたしました。

今後技術士補取得は、JABEE認定校の卒業生増加と相まって、技術士としての一定の地位を保持するための必須条件となることが確実視されております。そのため、本講習会により合格のノウハウを会得し、見事合格への栄冠を獲得されますよう、お祈りして申し上げます。

(文責：中山 亮)